

わがまち 自慢



いかるが

斑鳩町

(写真提供 斑鳩町)

三塔いにしへの道 (約5km)

斑鳩ならではの塔、法隆寺五重塔、法起寺三重塔、法輪寺三重塔を背景に矢田丘陵の山並みと田園風景のなか、四季折々の草花を楽しみながら、今に息づくいにしえを歩くコースです。

●法隆寺

表紙写真(右下)の法隆寺は、聖徳太子と推古天皇がともに発願して、太子の父・用明天皇のために建立されたと伝えられており、木造建築物としては世界最古のものです。



●法起寺

池後寺または岡本寺とも呼ばれ、三重塔は慶雲3年(706)に完成した、飛鳥様式を今に伝える現存最古最大のもので、ユネスコの世界文化遺産に登録されています。



平成19年2月11日、斑鳩町は町制60周年を迎えました。奈良盆地の西北部から矢田丘陵の南端に位置する斑鳩町には、さまざまな歴史の遺産があります。なかでも、法隆寺、法起寺などの法隆寺地域の仏教建造物は、現存する世界最古の木造建築として、日本で初めて世界文化遺産に登録されました。

また、聖徳太子が斑鳩宮を開かれる以前に築造されたといわれる藤ノ木古墳をはじめとする古墳群、歌に詠まれた紅葉の名所の竜田川など、歴史的な景観と四季折々の美しい風景が広がり、豊かな自然が残っています。

このような、斑鳩の自然のなかに立ち、ゆっくりと散策を楽しみながら、悠久の歴史に想いを馳せてみませんか。斑鳩町の歴史散策の道を紹介します。

藤ノ木・業平つれづれの道 (約5km)

大陸文化の香りを漂わせ、今もその謎を秘める藤ノ木古墳から、平安歌人伝説の在原業平のロマンあふれる業平道。歴史をさかのぼり平安の恋心にふれるつれづれのコースです。

表紙写真は、このコースの途中にある「竹藪トンネル」付近に広がる田園風景です。

●藤ノ木古墳

6世紀後半の築造と推定されている円墳です。未盗掘であったため、朱塗りの家形石棺や精巧を極めた金銅製馬具類など、多数の貴重な副葬品が出土しました。



(写真提供 斑鳩町教育委員会)

花小路せせらぎの道（約7km）

奈良街道沿いの竜田の町並みを通り、竜田川のせせらぎと桜や紅葉に季節を感じながら、詩情豊かな風景のなかを歩くコースです。



●三室山の桜



●竜田川の紅葉

斑鳩町の歴史散策の道は、ほかにも「太子ロマンの道（約4km）」「当麻街道やすらぎの道（約7km）」「自然散策うるおいの道（約6km）」と、全部で6コースあります。

また、斑鳩町観光協会では、散策の道をガイドしてくださるボランティアの方もいらっしゃいます。詳しくは、斑鳩町役場または、斑鳩の里観光案内所へお問い合わせください。

斑鳩町役場ホームページ

<http://www.town.ikaruga.nara.jp/>

斑鳩の里観光案内所「法隆寺センター」

<http://www4.kcn.ne.jp/~ikaru-i/>

